

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	草加市児童発達支援センターあおば学園		
○保護者評価実施期間	2026年2月1日		～ 2026年2月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35	(回答者数) 35
○従業者評価実施期間	2026年2月1日		～ 2026年2月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 20
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門職が常駐していることで、お子さんの支援を、保育士だけでなく、多職種連携の中から行えること。	個別支援計画作成時には、担任だけではなく、専門職にも参加を依頼し、多くの視点からお子さんのことを考えられるようにしている	保育士・専門職が緊密に連携をとり日々の療育の中での支援を通じて、お子さんの療育にいかす。
2	保護者と職員との信頼関係を築き、その土台に根差した支援をお子さんにも保護者にも行っていく	日々細やかに連絡をさせていただくことで、保護者の不安がないようにしていく。	コドモンの配信などで、これまで以上に保護者に向けての連絡を細やかにを行う。
3	地域の関係機関や保護者と連携しながら、移行支援や情報共有を進められること	園内での共有に加え、必要に応じて関係機関との連絡調整を行っている。	連携の目的や役割を整理し、より円滑な情報共有につなげていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援内容の見える化や、計画に沿った支援の共有に課題があること。	計画内容の共有方法や、日々の振り返りの時間が不足しやすいため。	打合せや記録の活用を見直し、支援のねらいを共有しやすい体制を整える。
2			
3			